

2017年3月期第2四半期 決算説明会

カシオ計算機株式会社

2016年11月2日

CASIO[®]

本資料における業績予想及び将来の予想等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。
従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの業績とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

2017年3月期 第2四半期連結決算概況

CASIO

単位:億円 ①

連結	2016/3月期	2017/3月期	
	上期実績	上期実績	
		実績	前年比
売上高	1,740	1,567	-173
営業利益	216	135	-82
利益率	12.4%	8.6%	-
経常利益	217	82	-135
当期純利益	154	64	-90

2017年3月期決算予測

CASIO

単位:億円 ②

連結	2017/3月期			
	上期実績	下期計画	通期計画	前年比
売上高	1,567	1,733	3,300	-223
営業利益	135	170	305	-117
利益率	8.6%	9.8%	9.2%	-
経常利益	82	173	255	-156
当期純利益	64	116	180	-132

セグメント別売上・営業利益

CASIO

③

単位:億円

連結		2017年3月期			
		上期実績	下期計画	通期計画	前年比
売上高	コンシューマ	1,331	1,504	2,835	-175
	システム	192	204	396	-31
	その他	44	25	69	-17
	合計	1,567	1,733	3,300	-223
営業利益	コンシューマ	171	210	381	-109
	システム	▲14	▲17	▲31	-13
	その他	2	▲2	0	+1
	調整額	▲24	▲21	▲45	+4
	合計	135	170	305	-117

■売上 -173億円、営業利益 -82億円

- ・為替影響

- 売上:約85%、営業利益:約85%

- ・熊本地震による影響

- 売上:約5%、営業利益:約5%

- ・システム事業の集約に向けた生産、販売抑制による影響

- 売上:約10%、営業利益:約10%

■売上 -400億円、営業利益 -175億円

- ・中国市場、新興国市場の景気低迷長期化
→ 売上:約60%、営業利益:約55%
- ・熊本地震による部材調達難
→ 売上:約5%、営業利益:約5%
- ・システム事業の集約に向けた生産、販売抑制
→ 売上:約20%、営業利益:約20%
- ・新規事業立ち上げ時期のズレ
→ 売上:約15%、営業利益:約20%

- ・時計、関数電卓は好調維持
(時計は現地通貨ベースで10%、関数電卓は8%増収)
- ・システム事業は構造改革により体質強化
- ・新規事業は今期確実に立ち上げる
- ・技術を生かした新規商品ジャンルの商品企画により
新しいユーザー価値の創造
(カシオらしい独自商品ジャンル:TR)

時計事業の成長戦略は順調に推移

2年後に向かって 売上2,000億円 営業利益500億円

高機能アナログの進化とG-SHOCKのブランド強化による 事業拡大

■ Quartz(Analog) $\xrightarrow[\text{(電波/GPS)}]{\text{時刻精度の追及}}$ Smart (Analog)
+ Connected (WWW)

■ G-SHOCKの高価格帯拡充

- ・匠の技との融合…MR-G鋸起モデル
- ・バーゼルワールド2017メイン会場への出展

■ 伸ばすべき市場への展開

- ・巨大中国市場
- ・女性市場

■ 真のスマートウォッチ市場はデジタルのカシオが創る

- ・スマートアウトドアウォッチで参入
 - ① 新たなマーケット開拓
 - ② PRO TREK ジャンルの拡大

教育事業の成長戦略は順調に推移

2年後 売上1,500億円 営業利益150億円

学生市場の拡大

■関数電卓

- ・ASEANをメインにローカライズ化の推進
- ・未開拓国の学校販売ルート開拓

■電子辞書

- ・高校生市場で培った学校販売の仕組み/ノウハウを他の市場(小学生市場等)で拡大

社会人向け新しい教育市場の確立

■英会話学習ツール

- ・ラインアップの拡充(EX-word RISE、joy study・・・)
- ・おもてなし英語に向けたモデル開発、「英語対応能力検定」立ち上げ



楽器の拡大

- ・教育市場向け楽器ラインアップの見直し
- ・エンターテイメント市場に向けた新規提案

構造改革

- ・不採算事業からの撤退

プリンタ事業

OA事業の赤字部門

システム事業全体の黒字体質を固める

今後の成長戦略

- ・OA事業(楽一)とSA事業をベースとした小規模個人事業主向けソリューション展開
- ・PA事業とプロジェクター事業は強いハード技術による独自ジャンル強化

2. 5Dプリンタ

法人向けにニーズが高く、有効活用できるカシオの
独自技術によるプリンターの拡販

経営ネット事業

今期中にノウハウコンテンツで事業化

リスト端末

ハンズフリーでアクティブな場面で最適な新製品開発
による拡販

- ・ 自社株買い

1,000万株(150億円)

取得期間:平成28年11月4日～平成29年1月31日

消却 1,000万株

- ・ 配当政策

中間配当20円

END